

メンバー

第1ヴァイオリン 上野 眞樹[◎] 後藤 明子 夫田 響子 星野 いずみ
 益 由香
 第2ヴァイオリン 今井 千晶 向田 さおり 岡咲 志乃 余島 英子
 ヴィオラ 増田 喜代 藤井 雅枝 山本 敬子
 チェロ 宮本 隆一 吉長 孝穂 泉 玲奈
 コントラバス 田中 由加 渡邊 美穂
 チェンバロ 新庄 良恵^{*}

制作スタッフ

◆企画・制作 はつかいち室内合奏団運営委員会
 ◆アドヴァイザー 山本 章彦
 ◆特別顧問 松本 憲治
 ◆ライブラリアン 佐伯 洋子 山中 玲子
 ◆ステージ・マネージャー 檜垣 伸郎
 ◆映像収録 auftakt

[◎]はコンサートマスター
^{*}は賛助



合人社グループ



はつかいちから世界へ

シブヤがつくるダイヤモンドコアドリルは
 世界各国で使われています。



MADE IN はつかいちのダイヤモンド工具メーカー

広島県廿日市市木材港北 5-86 TEL (0829)34-4500 SHIBUYA

第24回 全国菓子大博覧会 名誉総裁賞受賞



桐葉菓

TOYOKA

商品情報
 ご注文はこちら



地元の恵みで地元笑顔を

デリカウイング株式会社
地産地笑 DelicaWing

本社・広島工場
 広島県廿日市市宮内工業団地 2-5
 岩国工場
 山口県岩国市田原 266-3
 デザート工場
 広島県廿日市市宮内工業団地 1-2
 東広島工場
 広島県東広島市吉川工業団地 11-9
<http://www.dwing.co.jp>

減速機・トランスミッション・歯車設計製作

株式会社広島精機

T 738-0039
 広島県廿日市市宮内工業団地2-3
 Phone 0829-20-2255(代) Fax 0829-20-2256
<http://www.hiroshima-seiki.co.jp>

100年企業に向けて
 新たな起動を。

ClassNK
 ISO 9001
 ISO 14001

ここに決めてよかった!!

廿日市市 東洋観光グループHD P250台

廿日市葬祭会館
 広島セレモニー

24時間年中無休 0120-32-4949 廿日市市市戸1丁目7-20 事前相談はお気軽に!

はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA”
 協賛のお願い

“SA・KU・RA” が活動を続けていくためには、皆様サポートが必要です。そこで、活動を応援して下さる企業を募集しています。協賛企業様には、1. チラシ・プログラムへの企業名の掲載 2. 演奏会や財団主催公演へのご招待などの特典があります。皆様のご支援、よろしくお願いたします。



はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA” 演奏会2024

指揮・ヴァイオリン：澤 和樹

©Kenshu Shintsubo

2024年 6月8日 土 15:00開演
 ※ はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 小ホール



ヴァイオリン：上野 眞樹

- [主催] (公財)廿日市市芸術文化振興事業団
- [共催] 廿日市市教育委員会
- [助成] 日本芸術文化振興基金
- [協力] 日本音楽財団 (日本財団助成事業)
- [特別協賛] 株式会社合人社グループ、株式会社シブヤ、株式会社やまだ屋
- [協賛] デリカウイング株式会社、株式会社広島精機、広島セレモニー株式会社

プログラム

組曲「ホルベアの時代から」op.40 — E. グリーグ

From Holberg's Time, Suite in olden style op.40 Edvard Grieg (1843-1907)

1. 前奏曲
2. サラバンド
3. ガヴォットとミュゼット
4. アリア
5. リゴードン

2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 (Vn: 上野 真樹, 澤 和樹) — J. S. バッハ

The Concerto for Two Violins in d minor BWV1043 Johann Sebastian Bach (1685-1750)

- I. Vivace
- II. Largo ma non tanto
- III. Allegro

休憩

弦楽のためのセレナード ホ長調 op.22 — A. ドヴォルザーク

Serenade for Strings in E major op.22 Antonín Dvořák (1841-1904)

- I. Moderato
- II. Tempo di Valse
- III. Scherzo: Vivace
- IV. Larghetto
- V. Finale. Allegro vivace

曲目解説

組曲「ホルベアの時代から」op.40 / E. グリーグ

劇音楽「ペール・ギュント」の作曲者として有名なグリーグが、同郷のノルウェー西部の町ベルゲン出身で「ノルウェー文学の父」と呼ばれたルズヴィ・ホルベア (1684-1754) の生誕200年を記念して作曲しました。

疾走感あふれた《前奏曲》、チェロの伸びやかなソロが印象的な《サラバンド》、2つの異なるリズムの組み合わせが絶妙な《ガヴォットとミュゼット》、愁いを帯びたメロディーに溢れた《アリア》、軽やかでリズムカルな《リゴードン》、とホルベアが生きていたバロック時代に流行ったフランス風組曲の形をとることにより、彼への敬意を表しています。

2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 / J. S. バッハ

現存するバッハの3曲のヴァイオリン協奏曲の中でも、日本では最も親しまれている曲です。重厚な第1楽章、静ひつさに満ちた第2楽章、劇的な第3楽章という構成をとっており、2台の独奏ヴァイオリンが織りなす精巧なテクスチュアの美しさがこの曲の最大の特徴であると言えるでしょう。完全に対等に書かれたヴァイオリン・パートは、2人の独奏者に技巧的にも音楽性においても高度なバランスと絶妙な掛け合いを要求します。本日は、2人の独奏者による楽器を通じた対話をお楽しみください。

弦楽のためのセレナード ホ長調 op.22 / A. ドヴォルザーク

ドヴォルザークが33歳の時にわずか12日間という短期間で書き上げたこの作品は、豊かなメロディーの数々と生まれ故郷であるボヘミアの雰囲気を感じさせることから、弦楽合奏の名曲として親しまれてきました。

穏やかな雰囲気満ちた第1楽章、第2楽章のワルツではボヘミアの民俗性が垣間見ることができます。律動的なリズムと伸びやかな旋律の対比が際立つ第3楽章、深い森を連想させる夜想曲風の第4楽章、舞曲風の力強い曲調の終楽章では第4楽章や第1楽章の冒頭が回想されますが、最後は華やかな雰囲気曲が締めくくられます。

澤 和樹 (指揮・ヴァイオリン) Kazuki Sawa



©Kenshu Shintsubo

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞し、イザイ・メダル、ポルドー音楽祭金メダルを受賞した。1980年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジェルジ・パウク、ペラ・カトーナの両氏に師事。1984年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始し、1989年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。1996年より指揮活動を開始。2003年、2004年には響ホール室内合奏団、2005年には東京弦楽合奏団を率いて英国各地で演奏し絶賛される。日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などにも客演し好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。英国王立音楽院名誉教授。東京大学先端科学技術研究センター・フェロー。2023年、韓国文化体育観光部長官賞を受賞。

ご挨拶



甘日市市長
松本 太郎

はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2024の開催をお祝い申し上げます。

“SA・KU・RA”の活動は、小学校訪問コンサートをはじめ、みなさまへ文化芸術を届けるはつかいち文化ホールの取り組みの一つとして、定着してきました。

本年度は今回の演奏会のほかに、家族向けの体験型コンサートやゼロ歳児から鑑賞できるコンサートを開催されると伺っており、本年2月に行った「こどもが主役のまち

はつかいち宣言」の一翼を担ってくれることと期待しております。

本日は、昨年に続き、前東京藝術大学学長の澤 和樹先生を指揮・独奏ヴァイオリンに迎える演奏会です。ご来場のみなさまには素晴らしい演奏を存分に楽しんでいただければと思います。

結びに、コンサート開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。



はつかいち室内合奏団
運営委員会 委員長
瀨本 恵康

本日は、「はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2024」にご来場いただき、誠にありがとうございます。はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”は、これまで市長をはじめとして、地域のみなさまの温かいご理解とご支援をいただいております。

結成以来、前東京藝術大学長の澤 和樹先生のご指導の下、“SA・KU・RA”は年々力を増してきました。現在その活動の場は広まっており、皆様から高い評価をいただいております。

そして本日は、“SA・KU・RA”結成以来、コンサートマスターを務めていただいております上野 真樹先生にもお力添えをいただいて、不朽の名曲を披露できることとなりました。

ご来場のみなさまにおかれましては最後までお楽しみいただき、引き続きのご支援をお願いいたします。

上野 真樹 (ヴァイオリン) Masaki Ueno



東京藝術大学、ドイツ・ハノーファー音楽大学ソリストコース卒業。ドイツ・ヒルデスハイム歌劇場、ホーファー・シンフォニカー、フィルハーモニア・フンガリカ、広島交響楽団のコンサートマスターを歴任後、フリーの演奏家として恩師ユディー・メニューインの「音楽家は平和の戦士」をモットーに「ドイツ平和村」「国境なき医師団」「アムネスティ・インターナショナル」等の活動支援コンサートなど、世界各地で多彩な演奏活動を展開中。アフガニスタン子供教育支援のために多数のCDをリリース。はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”コンサートマスター。

はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA” (さくら)

広島県内でも屈指の音響を誇るはつかいち文化ホールのより有効的活用を図る計画の一環として、ホールを拠点に演奏活動を行うプロ・アンサンブルとして、2020年4月に正式発足した。毎年10月に開催される「はつかいち平和コンサート」では中心的役割を果たしている。その他、2018年より甘日市市内の市立小学校を対象に「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」を実施、はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”の指導など、地域に根差した活動も行っている。昨年11月に行われた「クリスマスコンサート～長崎OMURA室内合奏団 甘日市公演」では、同室内合奏団との交流合同演奏を披露、本年1月に行われた「はつかいち ニューイヤール・ガラ・コンサート2024」は好評を博した。

今後の活動としては、10月の「はつかいち平和コンサート2024」への出演、また親子向けのコンサートや楽器体験イベント等をウッドワンさくらびあで開催し、引き続き甘日市市内での活動を中心に「より市民に親しまれる合奏団」を目指して、積極的に活動を展開していく予定。

※愛称の“SA・KU・RA”(さくら)は公募によるもので、甘日市市木でもある桜の樹が市民の心を和ませるように、音楽で人々の心を楽しさを咲かせる「咲(さ)く楽(ら)」をイメージして付けられました。